平成31年3月26日

宮城県伊具高等学校

平成30年度 学校評価報告書

1 本年度の重点目標

(1)開かれた学校づくりと特色ある学校づくりの推進 (2)主体的・対話的で深い学びにつながる授業力の向上と基礎学力の向上 (3)基本的な生活習慣やマナーの定着指導と活気ある学校づくりの推進 (4)希望進路100%達成に向けた組織的な取組 (5)清掃指導の徹底と心身の健康管理の推進 (6)4系列の特長ある教育活動の推進 (7)創立100周年記念事業に係る準備の推進
--

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 基礎学力の向上	B	放課後学習を計画的に実施している。しかし、定期考査の結果を見ると、基礎学力が身につけていない生徒も多く見られるので対策を講じたい。	B	B
	② 授業力の向上	A	研究テーマに沿って研究授業を行う教員が多かった。特に、ICTの利用により、生徒が集中できる授業を展開することができた。さらに、授業研究を組織的に推進したい。	A	B
	③ 「総合学科」教育の推進と充実	A	4系列の特長を生かした授業に取り組んでおり、各種大会の発表や産業教育フェアなどでも発表することができた。今後、さらに充実に努めたい。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	○基礎学力の低下は深刻です。更なる指導を宜しく。 ○入学者の減少を重く受けとめ、郡内中学校との定期的な交流を企画してはどうか。				
生徒指導	① 挨拶・身だしなみの徹底	B	挨拶がしっかりできる生徒が多くなった。著しい頭髪の乱れや服装の乱れは少数となったが、注意指導を今後さらに徹底したい。	B	A
	② 安心・安全な学校づくり	B	中抜けをなくす生徒指導体制は改善しつつある。器物破損が見られるので、しっかりした対応を心がけたい。	B	B
	③ 活気のある学校づくり	B	体育祭や伊具高祭などの校内行事は、生徒が積極的に活動する体制が整えられた。運動部の部員の確保と活性化に取り組むたい。	B	B
学校関係者評価委員会における意見	○野球部の活発な活動を希望する。○身だしなみや言動は以前より改善していると思う。 ○部活動の指導、部員の確保等を懸念しています。部活動の活性化の実現に向けて努力して下さい。				
進路指導	① 教科・年次・担任との連携によるきめ細かい進路指導	B	3年次では三進会、1・2年次でも年次会を中心に連携しきめ細かい進路指導ができた。今後とも指導を強化していきたい。	B	B
	② 進路行事の充実	B	進路別オリエンテーションの内容を変えて実施したが、生徒は一所懸命取り組んだ。今後さらに改善し取り組ませたい。	B	B
	③ 保護者への適時・的確な進路情報の提供	B	保護者へのアンケート等で進路情報が家庭に伝わっていないと回答を得ることが多かった。今後はメールやホームページ等も活用したい。	B	B
学校関係者評価委員会における意見	○挨拶が社会での基本。更なるご指導をお願いします。 ○ライフプラン発表会は適切な企画だと思います。今後とも継続されるようお願いいたします。				

4系列の特長ある教育活動	① 農学系列の教育活動の推進	A	家畜審査競技会での最優秀賞，砂像甲子園大会での準優勝，そば打ち選手権大会出場，苗販売などで素晴らしい活躍があり，今後も充実した活動となるように取り組みたい。	A	A
	② 機械系列の教育活動の推進	B	ものづくりマイスター制度などにより多くの外部技術者を講師に招き実習環境の充実を図った。各種検定試験において合格率が向上しなかった。非常勤講師の欠員状態を解消し，安全に係る環境を構築しなければならない。	B	A
	② 情報（商業）系列の教育活動の推進	A	齋理幻夜での司会や発表に取り組んだ生徒，情報処理検定やビジネス文書実務検定などの各種検定で資格を取得した生徒が多かった。今後も充実させたい。	A	A
	③ 福祉系列の教育活動の推進	A	講師を招いての食育や介護体験学習，家庭クラブの東北大会補助，食物調理技術検定や保育技術検定，介護職員初任者研修などで多くの生徒が活躍した。今後も活躍できる場を継続させたい。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	○齋理幻夜での貴重な体験，将来に必ずプラスになります。				
地域学校づくり	① 地域への学校情報発信の充実	B	ホームページやツイッターを利用しながら，本校生徒の活躍を情報発信した。一部掲載できなかったりしたので，今後しっかりと発信したい。	B	B
	② 地域と連携した教育活動の推進	B	近隣の学校に電気自動車の実演を行ったり，農学で栽培した農作物を販売したり，地域で活躍した方を講師に招いて学習活動を行った。今後もさらに地域との協働体制を行いたい。	A	A
	③ P T A活動の充実と同窓会との連携	B	P T Aと連携し，伊具高祭では餅つきや餅の販売を行い，朝の一声運動は正門で生徒と協力して行った。創立100周年記念事業については，同窓会と連携し計画を進めているが，なお一層詳細をつめていきたい。	B	B
学校関係者評価委員会における意見	○省エネ自動車は素晴らしいです。継続をお願いします。 ○創立100周年記念事業については，少なくとも1年前に事業の概要を提示できるように，卒業生の一人として願っています。				

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① いじめ防止を徹底する	いじめ防止のために，日頃から生徒のようすをしっかりと観察しながら良好な学校生活を送られるように指導を行っていく。いじめが発生した場合は，関係者としてしっかり連携を取りながら迅速な対応を行っていききたい。
② 部活動の活性化を目指す	運動部員の減少等によって運動部の活動が少なくなっている。県の指針を踏まえながら，運動部及び文化部の計画的な活動の活性化を図りたい。
③ 情報発信をさらに充実する	生徒の活躍をホームページやツイッターで発信しその状況を伝えたい。また，緊急メール登録者を増やし，緊急時や生徒保護者への連絡等をタイムリーに発信したい。